

私立大学図書館協会 2007 年度第 6 回国際図書館協力委員会議事要録

日 時：2008 年 3 月 19 日（水）14:00～15:30

場 所：東京経済大学 葵友会 大手町サテライト

出席者：落合万里子（同志社大学） 飼沼敏雄（名城大学） 新田晶平（大阪学院大学）

三浦治（帝京大学） 丸本操（東京経済大学）

工藤邦弘（中央大学：会長校）

〔事務局〕 関達朗（東京経済大学）

欠席者：風間茂彦（慶應義塾大学）

配付資料

（1）2008 年度派遣研修応募者一覧

（2）2008 年度年間活動計画案

（3）各事業捗状況

- ・集合研修参加者意見
- ・ワシントン大学図書館担当者からの研修終了挨拶
- ・シンポジウム参加者集計
- ・2008 年度第 1 回寄贈資料搬送事業実施案内文案
- ・同申請書案

（4）2007 年度会計資料

（5）J L A からの問合せ対応

審議事項

1. 2008 年度海外派遣研修参加者選考について

- ・委員会に先立って実施された参加者選考面接の結果に基づいて審議を行った結果、応募者 2 名の内、健康科学大学図書館の勢田玲生氏を選定するという事と了承された。

2. 2008 年度事業計画について

- ・資料 2 に基づいて 2008 年度の年間活動計画について委員長より提案があり、審議を行った結果各事業について下記のように了承された。

シンポジウム

- ・今年度の実績から見ても、任期初年度に開催するのはなかなか困難であり、予算面でも従来の予算立てでは厳しい面があるので、開催頻度について審議を行った。
上記の状況から、2 年に一度の開催でもよいのではないかという意見もあり、2008 年度は企画については検討を進め、状況によって開催するしないを判断した上で、次期委員会に引き継ぐということと了承された。

集合研修

- ・今年度実施したワシントン大学図書館からは、次回以降の実施は難しいとの連絡があったため、過去に実績のある O C L C を中心とした研修を企画する方向で検討する。

ただし、その場合は実施時期を11月あたりに設定し、早めに準備を行う必要がある。

- ・また、研修参加者から宿泊に関してセキュリティ面で非常に問題のあるホテルであったとの強い不満の意見が寄せられた。

これは参加者の安全に関わる重大な問題であるので、次回の企画の際には本委員会の責任のもとに、宿泊をはじめとした研修全体の安全性を確保する必要があるということが確認された。

派遣研修

- ・例年通りの予定で実施する。

寄贈資料搬送事業

- ・第1回は例年通りの時期に実施とするが、第2回については実施時期を9月あたりに前倒しし、年内に作業の目処が立つような予定で実施する。

国際図書館協力基金

- ・図書館システムやデータベースなどに関わる企業について、依頼を検討する。

報告事項

1. 2007年度各事業進捗状況について

- ・資料3-1~5に基づいて、事務局より今年度実施した各事業についての進捗状況が報告された。

2. 2007年度予算執行状況について

- ・資料4-1~8に基づいて、委員長より今年度の予算執行状況について報告された。

その他

日本図書館協会（JLA）対応

- ・資料5に基づいて、日本図書館協会（JLA）から問い合わせがあったこととその対応について事務局より報告された。

以上